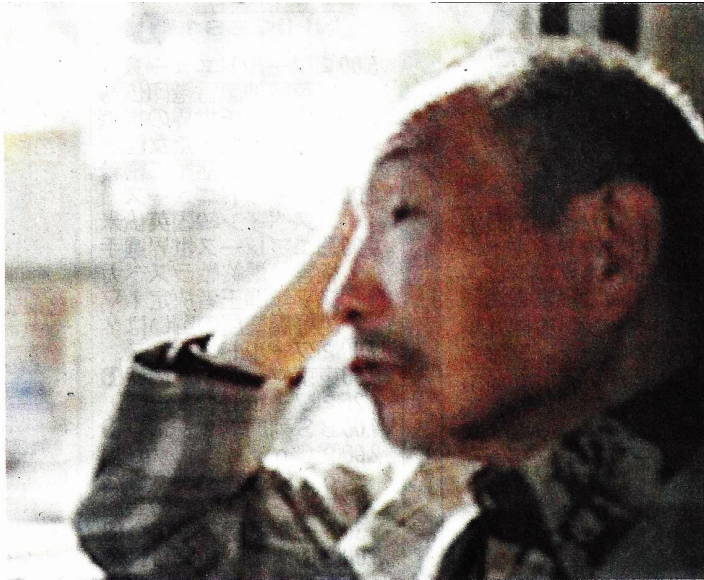


「映画『袴田巖』プロジェクト」提供  
袴田巖さんが登場する映画のシーン＝



## 袴田さん釈放後の日常 映画完成

静岡地裁の再審開始決定で昨年3月に釈放された袴田巖さん(79)＝浜松市＝の日常を追ったドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の中の世の中」が完成した。釈放の翌月から今年8月にかけて撮影、200時間に及ぶ映像などの編集が終わった。公開を前に、金聖雄監督(52)は「生きることの尊さを伝えることができればうれしい」と力を込める。(松本浩司)

# 生きる尊さを伝える

映画は百十九分。釈放から三カ月たち、姉秀子さん(八三)宅に戻った翌日の朝、袴田さんが着替えについてちぐはぐな会話をする場面や、元ボクサーとして後樂園で試合を観戦し「リングはやっぱり血が躍る」と興奮気味に語る場面など、ありのままの姿を収めた。手探りの新生活を撮り進める中で、自由を奪われた半世紀の時間の流れが浮き上がったという。

タイトルは、袴田さんが獄中から知人に宛てた手紙にあった言葉から選んだ。袴田さんには妄想などの拘禁反応が残る。「自分の世界と、ようやく手に入れた日常の世界をさまよっているように思える」と金監督。「四十八年間の死の恐怖を乗り越え、釈放された。それでも人は生きる方向に向かっていく。巖さんの存在自体が言葉にならないメッセージを発している」と話している。

試写会は関係者向けが十二月から順次始まる。一般公開は来年二月二十七日にポレポ

## 来年公開 姉との会話場面も

袴田事件 1966  
(昭和41)年6月、清水市(現静岡市)でみそ製造会社専務宅が全焼し、一家4人の遺体が見つかった事件。静岡県警は強盗殺人などの容疑で従業員だった袴田巖さんを逮捕した。袴田さんは公判で無罪を主張したが、68年に静岡地裁が死刑判決を言い渡し、80年に確定した。2014年3月に静岡地裁が再審開始と釈放を決めた。静岡地検は即時抗告し、東京高裁の再審可否判断に時間を要している。

レ東中野(東京都)で、三月十九日に静岡シネギヤラリー(静岡市)とシネマイーラ(浜松市)、名古屋シネマスコーレ(名古屋)で始まる予定。